

中学部通信



ブノンペン補習校
中学部通信 5月号
2018年5月19日(土)
内山・増田

* 裁判から学べること *

裁判では、証拠に基づいて、過去にどんな事実があったのかを明らかにします。そのためには、いろいろな疑問を解決しないといけません。例えば、「被害者は大げさなことを言っていないか」「目撃者は見間違えていないか」「現場に落ちていた物から何が分かるか」「被疑者は嘘をついていないか」などなど。どの疑問についても、答えを出すためには、自分の知識や経験などをフル活用し、想像力を働かせる必要があります。裁判について考えることで、想像力を鍛えることができます。想像力を鍛えると、相手のことを考えることができます。そうすると、相手の気持ちを考えて、思いやることができます。裁判は、日常とかけ離れた世界と思いがちですが、実は、日常と密接に関係しています。裁判を学ぶことで「自分の日常をより良くするためのヒント」を手に入れることができるかもしれません。

内山先生より



皆さんとても真剣に学んでいました！
次回の授業も、とても楽しみです。



「相手のことを思いやる」そんな想像力を身に付けることができたなら、ディベートでも言葉に気を配りながら論議できますね。色々な場面で、トレーニングしてみよう。

